

続・常識破りなクルマたち

好評につき
カラーページ
昇格!!

**Xtream
Cars
in the
world**

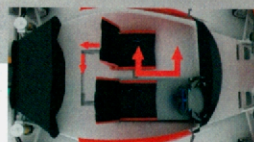
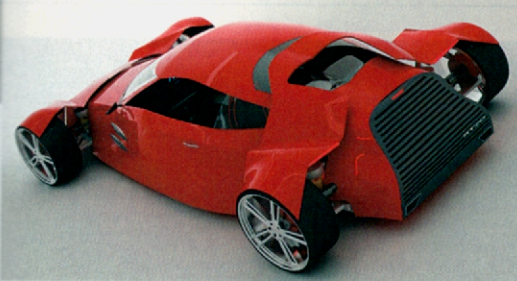
2月号でお届けして好評だった「常識破りなクルマたち」がご要望にお応えしてカラーで再登場!! まだまだ世界にはびっくりクルマがたくさんある。まずは脱・内燃機関で、大きく変わりそうなカー・デザインの現場から、どうぞ。

■文：大内明彦



RT20

■デザインコンセプト/オーストラリア・2009年



◀▲2020年といえは約10年先。環境性能のほか、車両やドライバーの情報を一元管理する安全性能も特徴のひとつだ

オーストラリアの工業デザイナー、マシュー・ルイスが想定する2020年の乗用車。と言っても性能はスーパーカー並。動力源は液体水素+内燃機 (V6) の組み合わせで「公道からサーキットまで」の高性能ぶりに超低公害性が売り文句となっている。

テシェイラ VFV

■デザインコンセプト/ポルトガル・2009年

ポルトガル人工業デザイナーのヌーノ・テシェイラがデザインした近未来EV。楽しく、安全に、環境に優しく走れるというのがコンセプト。グラスエリアの広さがデザイン上のポイント。セーフティデバイスECSも備える。

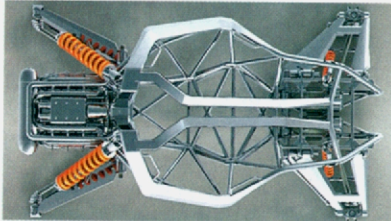
▼ベルトライン部は軽合金骨格による側突対策のアーモア構造。これも特徴のひとつだ



FHジョアンニウム大学とKTMのコラボによる先進的オフローダー。ハイブリッド駆動でモーターはインホイール型を4輪それぞれに。超絶的なサスストロークと長大な地上高で、自在な操縦性を備える点が大きな特徴だという。

KTM AX

■デザインコンセプト
オーストリア・2009年



▲軽合金製スペースフレームに樹脂製カウルを架装するボディ構造。超近代的なバギー!?